

自遊塾倶楽部広報紙

井戸端

通信

Vol.23

発行
平成15年12月25日

〒930-0096
富山市舟橋北町7-1
富山県生涯学習力レジン内
自遊塾倶楽部広報部

県民カレッジ学遊祭に参加して

平成15年10月4日(土)

富山の茶室探訪・体験講座(知事公館)

桃野 重昭

十月四日学遊祭に於いて、「富山の茶室探訪・体験講座」を開設しました。二百人の参加をいただき、明年に向けた展望が開けてきました。

ゆく秋の庭を散策して、スタッフの点てた一服のお茶を頂いた後、和室で「茶室の露地」のテーマで、五回体験講座を公開しました。

露地の発生とその意味するものは、茶道の中心が奈良から大阪・堺に移ったことに由来します。山紫水明の地を狭い堺の町に造ったことが露地の始まりです。この露地の中で最も大切な蹲踞があります。人は口をすすぎ、手を洗い、心身ともに清めて茶室に入ります。これは神道思想における「みそぎ」にあたります。人は汚いものを全て洗い落とせば、残るものは「生」あるのみでしょう。この「生きる」ためには食しなければならぬ。だから茶室に入り、まず食事(懐石)を頂き、お茶はその後に喫します。茶室も、お茶の作法の全て

の中心が蹲踞の作法に集約されていると言えます。

今でも堺では、町中の家が並ぶ道を「露路」と呼ん



でいます。これが露地になり又露地裏という言葉が発生したのでしょう。

以上が講座の概要ですが、参加の方は講座終了後、秋の日和の庭を散策したりして楽しんでいただけたらと思っています。また、自遊塾受講者の中から十名の方が応援スタッフとして働いて頂き感謝しています。

スタッフからも、参加者の方からも、来年は知事公館の庭で野点茶会を開きたいという声もありました。さらに、少しでも社会に還元したいとの思いから、自遊塾チャリティ茶会を企画してみようと皆で話し合っています。どうぞ皆様のご協力と参加をお願いいたします。

学遊祭万歳!!(マイボエム綴る&詠む)

尾山 敦子

マイ・ボエムの学遊祭参加も四回目数を数えます。回を追う毎にグレードアップ(?)していくステージ。今年はどうしようかと夢は膨らみます。今回のテーマは「人間」二ヶ月かけて各自思い思いのイメージにまとめ上げ、個性豊かな作品が出揃いました。

今回八尾町在住のアーティスト宮本明日香さんにご協力頂き、彼女のグラフィック作品の中から各自で選び、巨大スクリーンに写し出し、その前で朗読しましょうという事になりました。お陰で美しくシャープなステージに出来上がりました。

「詩を書くのも生まれて初めて。ましてや人前で詠むなんて」と初参加のメンバーは不安そう。「大丈夫よ、頑張

ろう」と励まし合

い、直前

まで口

ビーで練

習をして

いよいよ

本番!!

トップ

バッター

の流れる

様な朗読を聞いてこれなら大丈夫、

次々と思い切り、それぞれの「人間」

を表現しました。

「素敵だった、病みつきになりそう。」

と初参加メンバーの声。「上出来、上出来。」と余裕のベテランメンバー。小さなハプニングはありましたが、見事なチームプレイで、無事演じ終えました。

照明と音響のスタッフの皆様には随分とご無理を申し上げました。誌上をお借りしてお礼を申し上げます。

マイ・ボエム綴る&詠むの講座は、自ら綴った詩を自らの声で詠んでみようという試みです。詩はひとりひとりの生体リズムが紡ぎ出す心のゆらぎであり、本人が詠む事により、聞き手の魂にダイレクトにメッセージが届くのではないかと考えています。ボエムは、作る人にとっても、又、聞いて下さる方達にとっても、心の安らぎと着付きにつながるのではないかと考えています。ステージ発表を終えたメンバーの顔にはそんな充実感があふれていました。人間万歳!!ボエム万歳!!そしてこんな素晴らしい体験をさせて頂いた学遊祭万歳!!



新川キャンパス・フェスティバルに参加して

平成15年11月1日

新川みどり野高校・
新川地区センター

「やさしい結びで小物を作ろう」

県民教授 八倉巻 敬子

「やさしい結びで小物を作ろう」の講座を担当して、作品展示は今年で二回目となる。修了証を受領された方は富山・新川地区を合わせて二十九名であった。講座では、日本の代表的な「花結び」や基本の「マクラメ結び」を紹介した。受講生の方々は配色を考えたり、結びを組み合せたりして、様々な模様を製作され、作品にも趣が出たように思われる。製作活動は携帯ストラップに始まり、一輪挿し・幸せを呼ぶ福来郎・円形タペストリー・ポシェット・バック・ベルトなど多数の作品を完成し展示することが出来た。また、学遊祭当日は展示室でのミニ講座も見学者には大変好評であった。

砺波キャンパス・フェスティバルに参加して

平成15年11月1日

となみ野高校・
砺波地区センター

参加講座

- ・リサイクルペインティング
- ・折り紙一枚で無限の世界
- ・そば好奇心・となみ
- ・越中の山野草と温泉



自遊塾展示室の状況

9時
～
11時

- ・昨年に比べて女性の来客が多い
展示室はたえず8～15名の来客でにぎわい、
話がはずむ。

11時
～
12時

- ・富山県警察音楽隊の講堂は満開
この間は展示室は閑散、年配の人がちらほら。

12時
～
15時

- ・午後は来場者はまばら
数人の女性グループが、かしましく賑やかです。

来場者の声

社会人

- 孫思いの若いお爺さん
カブト虫の折り紙7枚
カメラに撮るのに懸命
- 孫思いの若いお祖母さん
孫に折り紙を教えるが
30分四苦八苦？
※孫がかわいい

学生

- この花は私の家の裏に
たくさん咲いてるよ
【もしかして五箇山】
- 竹の炭は本物？
【本当の竹炭だよ】
本当だ指が黒くなったよ

先生

- 山野草の講座は高尚で
格式が高いですね
【写真は専属のプロ】
- 竹炭の器はすごい
【炭の効果で成育、体にも
効果抜群】
※体に良い竹炭

ピーンズ・思ひ出

●山道の刈開けや補修でいい汗を流そう

山道との対話

佐伯邦夫

登録メンバーは二十名だが、毎回の参加者は飛び入りも含めて十五名ほど。だいたい登山の格好だが、それぞれに大型の剪定鋏や鉈、鎌(時には掛矢やトン鋏も...)を持参。ここが一般の登山パーティーと少し異なるところ。

車を連ねて山中へ。そしてしかるべき所から林の中へ。あとはひたすら木を切り、草をはらい...汗まみれの終日。山道は、一年放置すれば一年分荒れる。倒木を片付け、伸びた枝を切る...。山村の過疎化は三十年前の話。荒れるがままの山が多い。せめてそこにハイキングコースなり...というのがこの会。

十月五日、上市第二ダムの修了証交付の時はそれぞれに熱い思いを込めて拍手し合った。



●心がふんわり手作り絵本

「あれ、やっちゃった!」

沢田 奈美枝

塾生の皆様に、今までの講座の中で「あれ、やっちゃった!」という出来事を聞いてみました。

★なかなかいいアイデアが浮かばず、気が付けば二年目に突入。K美

★製本したら内身が一枚上下逆。E子

★出足はスイスイ。途中で手が止まり後はお茶をすすって見てるだけ...

★子供と一緒に受講したものの、やっぱりサッカーと絵本はリタイヤ。残念!

★そして私は、大島町絵本館へ交流会を兼ねて行った時、見学、鑑賞、交流会と無事進み、では解散。ホッとした時、「あれ、やっちゃった!」写真を一枚も撮っていない。あわてている人を集めてはみるものの時すでに遅し、残った人は数人だけ...。こんな私ですが、塾生に助けられ講座は和やかに進んでいます。

●越中の山野草と温泉を楽しもう

講座を振り返って

加藤利雄

野外に生えている山野草の花に出会ったとき「感動」と「心の安らぎ」を覚えます。講座開設六年、この素晴らしい自然を皆さんに体験していただき、より素晴らしい人生の糧になるよう共に学びませんか。

●山野草めぐり、みんなで探検新発見

山野草めぐり・講座を終えて

高木 末吉

身近な草花の楽しみを知って欲しい、仲間作りもしたい。そんな思いが昂じて、ついに県民教授に挑戦ということになった。

「山野草めぐり、みんなで探検新発見」講座名を作るのに先ず「苦労。応募者がどれだけあるかでははら。予定数を越えれば越えたで、抽選というのは外れた人に申し訳無く、心が痛む。何やかやで開講前から大変であった。でもとにかく終点にたどり着くことが出来た。道中、受講生の皆さんのお陰で、私の思いを越えて、ふくらみのある講座になり本当に有り難かった。少人数というのも良かった。直ぐメンバー同士が親しくなれた。

身近な草花の楽しみを知って欲しい、仲間作りもしたい。そんな思いが昂じて、ついに県民教授に挑戦ということになった。

「山野草めぐり、みんなで探検新発見」講座名を作るのに先ず「苦労。応募者がどれだけあるかでははら。予定数を越えれば越えたで、抽選というのは外れた人に申し訳無く、心が痛む。何やかやで開講前から大変であった。でもとにかく終点にたどり着くことが出来た。道中、受講生の皆さんのお陰で、私の思いを越えて、ふくらみのある講座になり本当に有り難かった。少人数というのも良かった。直ぐメンバー同士が親しくなれた。



講座以外の主な行事

幹事学習会(年2回)

手打ちソバ体験
となみ野高校
1回(3月)

山菜取り
ワサビ、フキ、
ウド、ヨシナ
2回(4・5月)

山野草の野外観察
(年8回)
県内全域
車に乗れない方
相乗りで出発
(富山、高岡、砺波)

炭焼き体験
井波時間東寺
2回(6・7月)
お土産に竹炭

コケ採り
有峰湖
1回(10月)

1年間の記録集作成
感想文、花の解説
写真(スナップ)
2月発行予定

宿泊学習
利賀村流剣鑑賞
1回(8月)

初舞台

岩城 尚

舞台袖で、私は手や背中にじっとり汗をかいていました。

漫才・コント

で舞台に立つことを目標に進めてきた我が講座でしたが、学遊祭までの講座では満足な稽古時間を確保できず、講師としては甚だ本意な状態で受講生を舞台に放り出してしまっていたので

それまでの講座で、どんなに手取り足取り教えていても、お客さんの前に立つてしまえば、私達は手を貸すことができません。台詞を間違えたり、大事な見せ場を飛ばしてしまったり、その度に私の毛穴からは汗が噴き出していました。

自分が舞台上に立っている方がどんなに気が楽か...。私の苦悩はよそに、受講生は間違えても台詞を忘れてしまっても最後まで突っ走ってくれました。そして優しいお客さんは大いに笑ってくれました。

出番を終えた受講生の顔は楽しげで、とても幸せな初舞台を踏むことができました。



県民カレッジ「自遊塾」が一九九五年（平成七年）に開講されて来平成十六年で満十周年を迎えることになりました。最初は十六講座、塾生は約三百二十四名でしたが、今年度はA・Bタイプ合わせて七十二講座、塾生二百二十五名になり、大変大きな学び舎に成長しました。第一回目から続いている講座は永田県民教授の「創造的問題解決の手法」と私担当の「ウォーキング冒険塾」の二講座ですが、森谷県民教授の「現代川柳入門」も途中約二年休みがありました。初回から続いています。生涯学習をめざし、一般社会人が共に学び交流する場としてユニークな講座も沢山出てきました。かつては「学、か」ということは、一方的、個人的、努力を要するような見方でしたが、自遊塾によって、学ぶことは楽しく、相互で喜びと広がりがあるものとなってきたのではないのでしょうか。素敵なこと、好きなこと、ためになること、楽しいこと、それを仲間と共に共有し合うことによって、明日への生きがいや希望がわいてきます。

私の「ウォーキング冒険塾」は当初十七名の塾生で出発しました。そして現在では、思いもよらなかった規模と広がり発展しております。講座のテーマは「海拔〇mから三千mへ」ですが、そのあとOB編として、「富山湾ぐるり一〇〇キロ」「黒部ウォーキング温泉紀行」「神通川湖行ウォーキング」「庄川湖行ウォーキング」「海外編バリ島一周四〇〇キロウォーキング」へとステップアップしていきました。OB編名簿として現在約百三十名が登録していますが、初回塾生のうち五名が今も主要メンバーとなっています。またテーマの発展編として「立山登山マラニック」を企画し、今年は六回目に、県外からのマラソンランナーが百五十名参加いたしました。このマラニックも第一回目は五十四名の参加者でしたが、今年は選手百九十名余が出場しました。実は、それ以上にボランティアの方が約二百五十名余りサポート致しました。そのうち約百五十名位がウォーキング冒険塾の仲間達です。皆は選手一人一人から喜びと感動を与えられました。

「自遊塾の歩み、私の歩み」

松原利仁

本当に私は自遊塾から貴重な宝物を頂きました。是非とも今後、この自遊塾を通して皆さんと共に学び、生きる喜びを味わいたいと思っています。

県民カレッジ

高岡地区センターがオープンします!!

平成16年4月、高岡駅前に完成する再開発ビルの7階に高岡地区センターがオープンします。

自遊塾も開講します。詳しくは、3月上旬に発行予定の塾生募集要項をご覧ください。



ご意見、ご感想、投稿などお待ちしております

県民カレッジ自遊塾 係

〒930-0096 富山市舟橋北町7-1
TEL 076-441-8403 FAX 076-441-6157
E-mail: akiko-y@tkc.pref.toyama.jp
http://www.tkc.pref.toyama.jp/

予想外の展開・そば好奇心塾

庄司俊雄

そば好奇心塾では今年で四年目になります。

先日、福井県で開かれた全国麺類文化地域間交流推進協議会（略して全麺協）の『素人そば打ち名人認定会』で、第一期の受講生四名と主催者の庄司がそろって二段位を取得するという快挙を成し遂げました。他に、第一期生で一名、二期生で一名、合計二名が同協議会初段位に認定されました。講座終了後も、自らの研鑽とそば打ちの普及に努める者がでるとは、講座スタート時の構想には無かったことです。

また、「山野草と温泉」講座との合同で、参加者が五十名余りにもなる「手打ちそば作り教室アンド試食会」を実現出来たことも、予想外の展開でした。

